

令和4年7月14日

関係各位

当園職員の新型コロナウイルス感染状況について

社会福祉法人 東京緑新会  
多摩療護園 園長 岩谷健治

日ごろから障害者支援施設多摩療護園、地域生活相談室おあしすの運営にご理解ご協力を賜り心より感謝申し上げます。さて、昨日7月13日夜に当法人職員1人が新型コロナウイルス感染症陽性と判定されました。感染状況は以下の通りとなります。

○当該職員…40代女性

○職 種…生活支援員

○感染経路…家庭内

○経 過

- ・7月11日、のどの痛みと咳が出始めたが熱は36.2度だったため、勤務（夜勤）した。
- ・7月12日17時、同居人が38.3度の発熱と倦怠感が出始めた。
- ・7月13日、朝から病院を探すが、受診は夜となった。
- ・7月13日21時30分、抗原検査により二人とも陽性判明（感染経路不明）。医師からは「今後の対応は保健所からの連絡を待つように」との指示だった。

○対応状況

- ・南多摩保健所に、当該職員が勤務した7月11日17時から12日9時までの業務内容と接触者の状況を相談
- ・同保健所は「マスクや手指消毒等基本的な感染症対策を行っているため、施設内の濃厚接触者はいない」との判断
- ・ただし、7月14日に発熱した利用者2名（38.0度と37.2度）はゾーニング対応した。すぐに通院して抗原検査とPCR検査を受け陰性だったため、ゾーニングは解除した。また、当該職員と接触して不安がある職員は抗原検査を実施し、全員陰性だった。

通所生活介護、短期入所事業については、利用者に情報提供を行い利用の可否を判断していただくこととして、事業は継続しています。現時点で判明しております状況は以上のとおりですが、関係の皆様にはご心配をおかけします。なお、今後、状況に変化が生じた場合は改めて報告させていただきます。引き続き、よろしくお願いいたします。